

公園名称候補選定委員会検討案

公園名	理由
「松」を含む名称	あの空間は、武蔵野の雑木林のパイオニア植物であるアカマツが優占した原風景をなしていて、存在感が大きいため。 例:松の風公園、松が丘公園、松籟公園
アカマツ公園	—
アカマツ公園	石神井中学校校歌の中にアカマツの林のかなたとある。 作詞家、草野心平さんが作詞したもの。
赤松の森公園	大きな赤松も少なくなってきたので、名前だけでも残したい。
あか松公園	赤松の赤は平仮名にして「やわらかさ」「やさしさ」「親しみやすさ」を表せたらと思う。 理由は、赤松が石神井地域の特徴的景観である事、また現地視察の際に見た赤松の大木がとても立派で「練馬の未来にも力強く根を張って区民に生きる力を与えてくれる木」のように感じられたから。
あかまつ公園	—
松風公園	—
あかまつ文化の杜公園	“スポーツ”も広く文化の一分野と捉え、「文化」という字に“スポーツ”と“文化”を代表するイメージを託した。 公園を代表する「あかまつ」と「杜」という字に“みどり”のイメージを託した。“森”と比較して人工的なイメージのある「杜」を使うことで、人の営みである「文化」とみどりが調和したイメージも持たせられるのではと考える。
文化の杜公園	—
文化公園	—
照姫自然文化公園	歴史に加え、文化芸術なども味わえる公園を目指す。
区民の森公園	“みどり”と“大きな”公園というイメージを「森」の字に託した。 「区民」という言葉は、“スポーツ”と“文化”についてこれらを満喫する主体(区民)を示すことで広く表現し、貴重な緑の空間が区民のために確保されたという誇らしさも同時に意味したいと考える。
みどりの風公園 大門が原公園(旧字名) やすらぎの丘公園	みどり、文化、運動に共通した概念を五感等であらわしたもの (運動公園など具体的名前を入れると長くなりすぎるため) アメダスもあるし、「風」で文化・運動もイメージできる
みどりの風公園	「風」は木々・草木・花に吹く自然の風だけでなく区民からの応募名称にある「文化」「スポーツ」「未来」「希望」「絆」等の発想を「風」に託して「文化の風」「スポーツの風」そして「未来と希望の風」等々と考え、練馬区民一人一人が「自分の風」を感じながら公園を利用していけたら嬉しい、との思いから検討案とした。
みどりの風(運動)公園	運動のほか文化芸術などの風が吹く公園を目指す。
運動公園	—

松・赤松 6名(類似園名:あかまつ緑地・一本松緑地・二本松緑地・くろまつ児童遊園)
文化 4名
みどりの風 3名
森・杜 3名